

昭和63年度 和歌山県文化功労賞

たちばな
橘

きくお
喜久雄

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：大正8年

◎業績及び経歴

氏は、昭和14年和歌山師範専攻科(美術)卒業後、県下で美術教育に尽力するかたわら、川口軌外に魅かれ、独学で絵を研磨した。

独立展を主な活動の舞台として、戦前より出品する。昭和18年初入選。独立展奨励賞を昭和36年をはじめ、合計5度受賞。昭和46年、49年には、独立賞を受賞。また、昭和49年には、同時に、独立賞の中から特に優秀な作品に贈られる独立展最高の賞である児嶋記念賞を受賞した。その後、昭和51年独立美術協会会員となり、画家としての地位を築いた。

昭和59年度和歌山県文化奨励賞を受賞した本県の代表的洋画団体である「青甲会」には、昭和21年結成時から出品を続け、現在はその代表として活動している。

県美術家協会常任理事の要職として活躍するとともに、県展審査員を永年務めるなど後進の育成に努められ、本県の美術文化の向上発展に寄与している。

油絵を主にし、その作風は、幻想的であり、独自の叙情性に富む。非日常的空間のなかに現実を超えた世界を表現し、詩情性、文学性を含んだ人間の内面を表現する絵を得意とする。